

笠原ではいよいよお茶摘みがはじまります。暖冬だった冬から一転して冷え込んだ4月で、霜や凍結の被害が発生した茶園もあったようです。笠原では花卉やイチゴ等の施設園芸も盛んですが、花卉栽培はウイルスによる自粛の影響で大きなダメージ、一方、在宅の方が増えたためかイチゴはよい価格で売れたようです。自然相手の農業も、農作物を利用させていただく方々があってこそ、世の中の動きに左右される部分がありますね。もうしばらく制限が続くそうですが、少しずつ平穏な日々が戻ってくることを期待しています。

今月のお米 大橋幸太郎さん「ヒノヒカリ（農薬化学肥料不使用）」：鹿子尾地区

今月は笠原棚田米プロジェクト農家で最年少（40歳）の大橋幸太郎さんのお米です。稲の種まき作業中の大橋さんにお話を聞きました。



昨年の米はよくできたと思います！今年の米づくりも始まりました。今回は苗箱を450～500箱作る予定です。このあと苗代に並べるのですが、苗代づくりが大変なので、もっといい方法はないかなと試行錯誤しています。今年は乾いた土の上に苗箱を置いて、スプリンクラーを使って水やりする方法を試してみようと考えています。

コロナの影響で売り先が閉まり、お茶の売上も減ったりと心配もありますが、若い人が農作業の手伝いに来てくれていて、米作りの準備などもはかどっています。笠原で無農薬のお茶づくりを始めた若者もいて、一緒に笠原のお茶づくりを盛り上げていこうとしています。うちは堆肥にこだわり、特徴のあるお茶づくりを目指しています。

今年も米づくり、お茶づくりをがんばります。よろしくお祈りします。（大橋幸太郎）

◆玄米ご注文の方には、笠原棚田米プロジェクト無農薬栽培実験田の「農薬化学肥料不使用ヒノヒカリ」をお届けしています。

◆事務局より

○サポーター募集中！新しいサポーターさんを募集しています。チラシを配布・設置のご協力いただける方は事務局までお知らせください。また紹介用のサンプル（白米450g）もお届けします。興味のある方いらっしゃいましたらご紹介よろしくお祈りします！

○次回のお届け 次回（6/3発送）は安達保さんの特別栽培米「ヒノヒカリ」をお届け予定です。精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月20日までにお知らせください。

○発送作業でのウイルス対策 ①37.5度以上の発熱や風邪症状があれば休む（今回は無し） ②作業前に手指の消毒（石けん手洗い or アルコール消毒） ③マスク着用 を行って発送しました。



美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail: info@sansonjuku.com

山村塾 HP <http://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】4月87→88名/121俵（個人：86、企業/団体：2）

【守られている棚田面積】20,167㎡（121俵⇒202a 収量6俵/10aとして）

※美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、

お米を食べて応援して下さるサポーターを募集しています！ [チラシはこちら](#) →

